

あしたば通信

No.5

発行日
令和5年
(2023年)

4月1日

発行：特定非営利活動法人
タンポポ福祉会
高砂市曾根町 2835 番 2
TEL. 079-448-8393

HP アドレス <https://www.tanpopofukushikai.org>

理事長からの言葉

新たに2023年度が始まりますが、今年度から体制が少し変わります。これまで私古田が理事長兼施設長を務めてまいりましたが、理事長は現状のまま、施設長が小林正宜さんに代わります。小林さんを中心にスタッフと利用者の皆さんが共に力を合わせて、より充実した場に育てていってほしいと願っています。

また、タンポポ福祉会はこれまであしたばの家という就労継続支援B型作業所のみを運営してきましたが、今年度から相談支援事業所も開設しました。

利用者の皆さんはもちろん、これから福祉サービスを受け、社会参加を目指していらつしやる障害者の皆さんの相談にも対応し、一人ひとりが一歩でも前に進めるよう応援させて頂く所存です。新しい一歩の年です。宜しくお願いいたします。

新施設長からの挨拶

今年度からあしたばの家の施設長に就任しました小林正宜と

申します。今まではあしたば工房主任として勤務してきましたが、利用者の皆様及びそのご家族の皆様、地域の皆様には目頃より当施設に対して多大なご理解、ご支援、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

WBC侍ジャパン日本代表の優勝に日本中が歓喜し、たくさんの感動を頂きましたが、今回は米メディアでも話題となった対豪戦の大谷翔平選手のホームランを巡る日本のファンの対応を紹介したいと思います。

スタンドに飛び込んだボールを多くのファンが順々に記念撮影し、最終的にボールを取った女性の元に返されたことについて、本来ならボールを巡って争奪戦になってもおかしくないのに「礼儀正しくボールを回しあいお互い歴史の瞬間を共有していた」「分かち合いの技術を披露した」「高い道徳観を持っている」等、日本人の心の温かさが称賛されていました。

このような心の温かさを大事にスタッフ一丸となって利用者の個性を尊重し、思いやり、温

もりのある施設を目指し、安心して穏やかに過ごせるよう取り組んでまいりたいと思っております。ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



相談支援事業に着手

この度、タンポポ福祉会では令和5年4月1日より「指定特定相談支援事業」を新たに開始しました。タンポポ福祉会では、障害福祉サービスの制度を利用せず、家で閉じこもっている方や、一人暮らしをしてみたいが、家事等が思うようにできない方など、さまざまな悩みを抱えた

方の相談に乗り、寄り添い、力になっていきたいと考えており、今回晴れて開設に至りました。事業所の名称は、呼びやすさ、親しみやすさなどを考慮し、「相談支援事業所みなと」に決定しました。「みなと」という名称には、この地域がかつて港町であったという高砂市の歴史から得た着想と、「皆と」ともに歩む事業所でありたいという思いが込められています。

障害福祉サービスをご利用中の皆さまにおいては、相談支援についてはご存じかと思えますが、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが実現できますよう、障がいのある方に寄り添った相談支援を目指したいと思います。

関係機関の皆さまとも連携を図りながら、地域に息づく障害福祉サービスとして、お力になれたらと思います。皆と、みなと、いざ出航！（相談支援事業所みなと管理者兼相談支援員 坪井）